□正規の手続を行った学校のみが記入します。
実態として小中一貫教育又は中高一貫教育を行っていても，正規の手続を経ていない学校は記入の必要はありません。
また，正規の手続を経ていても，本年4 月1 日以降に小中一貫教育又は中高一貫教育を行う事となった学校は記入の必要がありません。

平成　年度　学　校　基　本　調　査

卒業後の状況調査票（中学校）

—平成　年5月1日現在—

都道府県番号	学校調査番号	
48	389	2

中卒

（様式第23号）
統計法に基づく基幹統計調査
政府統計

□廃校となった場合でも，前年度に卒業者がいる場合，本調査票の作成が必要です。
廃校の場合であっても，本項目では「1 本校」又は「2 分校」を前年度の実態によって記入します。

1 学校の所在地	〒100-0000（市区郡）（町村）（番地） 東京都千代田区霞が関○−○−○ 電話（03）（00）（0000）	2 学校名（フリガナ）	文部科学　中学校　分校

□家事手伝いをしている者，外国の学校に入学した者，左記A～E に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者の数を記入します。

所在地の市町村番号	3 学校種別	4 設置者別	5 本校分校別	6 中高一貫教育の実施形態（中高一貫教育を行う学校のみ）	7 小中一貫教育の施設形態（小中一貫教育を行う学校のみ）	報告者
10	1 中学校	1 国立 2 公立 3 私立 1（該当する項の番号を記入する。）	1 本校 2 分校 1（該当する項の番号を記入する。）	1 併設型 2 連携型 1（該当する項の番号を記入する。）	1 施設一体型 2 施設隣接型 3 施設分離型 4 その他 1（該当する項の番号を記入する。）	校長氏名 取扱者氏名

□卒業者が各区分に重複して該当する場合は，便宜上，A→B→C→D→E の順に記入し，重複記入はしないでください。
・本年5 月1 日現在の状況を記入してください。したがって，進学，入学した者が5 月1 日までに退学した場合，就職した者が5 月1日までに退職した場合は進学者，入学者，就職者として扱いません。
なお，卒業時から5 月1 日までの状況の変更について把握できない場合は，卒業時の状況を記入してください。

□卒業者のうち，左記各欄のいずれに該当するか不明の者，卒業後本年5 月1 日までに死亡した者。

□「E 就職者等」の「有期雇用労働者」のうち，雇用契約期間が1年以上，かつフルタイム勤務相当の者は必ず再掲としてこちらに記入します。
※「フルタイム勤務相当」とは，1週間あたりの勤務時間が40～30時間の者を指します。

□左記A，B，C 及びD に該当する者で，就職している者は必ず該当欄に記入してください。
※「就職している者」の定義については，必ず手引をご確認ください。

□特別支援学級卒業者の状況を「8」の再掲で記入します。

□「就職」とは，給料，賃金，報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。
自家・自営業に就いた者は含めますが，家事手伝い，臨時的な仕事に就いた者は就職者には含めません。（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います。）

8 状況別卒業者数（平成　年3月卒業者）

男女別	A 高等学校等進学者：高等学校（本科）全日制	定時制	通信制	中等教育学校後期課程（本科）全日制	定時制	高等学校（別科）	中等教育学校後期課程（別科）	高等専門学校	特別支援学校高等部本科	別科	B 専修学校（高等課程）進学者	C 専修学校（専門課程）（一般課程）等入学者	各種学校	D 公共職業能力開発施設等入学者	自営業主等	常用労働者：無期雇用者	有期雇用者	臨時労働者	E 就職者等（左記A～Dを除く。）：F 左記以外の者	G 不詳・死亡の者	計（卒業者総数）	（再掲）左記Aのうち他県への進学者	左記A，B，C，Dのうち就職している者：Aのうち	Bのうち	Cのうち	Dのうち	左記E有期雇用労働者のうち，かつフルタイム勤務相当の者：左記「高等学校（本科）」のうち併設先または連携先の高等学校へ進学した者：全日制のうち併設先	全日制のうち連携先	定時制のうち併設先	定時制のうち連携先
7010 男	60	1							3					1	a 1	b	1		1		68	1	c 1	d	e	f	g 1	56			
7020 女	63								5		2				h	i 1	1	1			73		j	k	l	m	n	60			
※7030 計	123	1	0	0	0	0	0	0	8	0	2	0	0	1	o 1	p 1	2	1	1	0	141	1	q 1	r 0	s 0	t 0	u 1	116	0	0	0

男女別	9「8」の卒業者総数のうち特別支援学級卒業者の状況（再掲）：A 進学者 高等学校及び特別支援学校高等部の本科及び別科	B 専修学校（高等課程）進学者	C 専修学校（一般課程）等入学者	D 公共職業能力開発施設等入学者	E 就職者等（左記A，B，C，Dを除く。）	F+G 左記以外の者，不詳・死亡の者	計
7010 男		3					3
7020 女		5					5
※7030 計	0	8	0	0	0	0	8

□「8」に計上した卒業者のうち，高等学校及び中等教育学校後期課程の本科（通信制及び別科は除く。就職して願書を提出した者を含む。），高等専門学校又は特別支援学校高等部の本科（別科は除く。）へ願書を出した者の実数を記入します。
同一人が2 校（又は2 課程）以上に願書を提出した場合も，1 名として記入します。
例えば，同一人が2 校（又は2 課程）に入学志願して，そのうち幾つかの学校（又は課程）に合格した場合は，実際に進学した方に記入し，いずれの学校（又は課程）にも不合格の場合は，第一志望の方に記入します。

□「8 状況別卒業者数」のうち，「E 就職者等」の「自営業主等」及び「無期雇用労働者」，「（再掲）」の「左記A，B，C，Dのうち就職している者」及び「左記E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」について，「11」に就職先の事業所の所在地により県内と県外に分け，また事業所の産業別に分けて記入します。

□「6 中高一貫教育の実施形態」欄に「1 併設型」「2 連携型」を記入した学校で，「A 高等学校等進学者」のうち「高等学校（本科）」に該当する者のうち，中高一貫教育制度の対象者で，併設先又は連携先の高等学校への進学した者を再掲として記入します。

10「8」の卒業者総数のうち高等学校（本科）等への入学志願者数（再掲）

男女別	高等学校（本科）全日制	定時制	中等教育学校後期課程（本科）全日制	定時制	高等専門学校	特別支援学校高等部（本科）	計	左記「高等学校（本科）」のうち併設先または連携先の高等学校への入学志願者（再掲）：全日制のうち併設先	連携先	定時制のうち併設先	連携先
7011 男	60	1				3	64	56			
7021 女	63					5	68	60			
※7031 計	123	1	0	0	0	8	132	116		0	0	0

11 就職先の産業別就職者数（再掲）

「11」調査票	第1次産業 県内	第1次産業 県外	第2次産業 県内	第2次産業 県外	第3次産業 県内	第3次産業 県外	左記以外のもの 県内	左記以外のもの 県外	計 県内	計 県外	計
第1次産業	1			1	1				0	0	a+b+c+d+e+f+g 3
第2次産業								1	0	0	h+i+j+k+l+m+n 1
第3次産業	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	o+p+q+r+s+t+u 4

「11」調査票	
第1次産業	「農業」，「林業」，「漁業」
第2次産業	「鉱業，採石業，砂利採取業」，「建設業」，「製造業」
第3次産業	「電気・ガス・熱供給・水道業」，「情報通信業」，「運輸業，郵便業」，「卸売・小売業」，「金融・保険業」，「不動産業，物品賃貸業」，「学術研究，専門・技術サービス業」，「宿泊業，飲食サービス業」，「生活関連サービス業，娯楽業」，「教育，学習支援業」，「医療，福祉」，「複合サービス事業」，「サービス業（他に分類されないもの）」，「公務（他に分類されるものを除く）」
左記以外のもの	「分類不能の産業」及び「就職先の産業別が不明の者」

1　本校と分校（正規の手続を完了したもの）は，別々に調査票を作成する。分校の調査票は本校で取りまとめ，校長から提出す
2　数字は，□□□ の中に一字ずつ，右側につめて記入する。
3　符号a～uは，調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。
4　「計」欄のあるところは，必ず検算をする。

□「6 中高一貫教育の実施形態」欄に「1 併設型」「2 連携型」を記入した学校で，併設先又は連携先の高等学校へ入学志願した者を再掲として記入します。

□符号のある各欄の合計値と「計」の数値が一致しているか，必ずご確認ください。

文部科学省